

“これまでにフィルムに焼き付けられた最も衝撃的かつ重要な歴史記録” — The Village Voice

La Batalla De Chile

La Lucha de un Pueblo sin Armas

軍事クーデター
それは、CIAの筋書きだった



チリの闘い

2Kレストア版

武器なき民の抵抗

製作・監督・脚本：パトリシオ・グスマン

支援：クリス・マルゲル、キューノ映画芸術産業庁、マッカーサー基金 プロデューサー：パトリシア・ボエロ、アリシア・グレスボ、ホルヘ・サンチェス
ナレーター：アビリオ・フェルナンデス 助監督：ホセ・バルトロメ 撮影：ホルヘ・ミューレル・シルバ 編集：ペドロ・チャスケル 録音：ベルナルド・メンシ
サウンド・ミキシング：カルロス・フェルナンデス 制作：フェデリコ・エルトン
アーカイブ：Estudio Heynowski & Scheumann, Noticiario Chile Films, Archivo ICAIC, Pedro Chaskel, Revista Chile Hoy, ISKRA
1975, 1976, 1978年/チリ・フランス・キューバ/276分/フランス語・スペイン語/5.1ch/1:1.85/日本語字幕 比嘉世洋子
原題：LA BATALLA DE CHILE La Lucha de un Pueblo sin Armas / 英題：The battle of Chile / © 1975, 1976, 1978 Patricio Guzmán
2K restoration and digitization with the support of the CNC (French National Centre of Cinema) / 配給・宣伝：アップリンク

第1部・ブルジョワジーの叛乱 / 第2部・クーデター / 第3部・民衆の力





アジェンデ政権の終焉を迫った、 歴史的映像証言

1970年、チリで民主的に選出された世界初の社会主義政権。希望に満ちた革命は、やがて激しい分断と暴力に吞み込まれていく……。『チリの闘い』は、サルバドル・アジェンデ政権が軍事クーデターに倒れるまでの最後の数ヶ月を、当時の現場で撮影し続けた映像記録である。国会内の応酬からストライキとデモ、銃声とともに倒れるジャーナリスト、空爆で崩れ落ちる大統領府までを捉えた、3部作構成となっている。

本作は、カンヌ国際映画祭(監督週間)やベルリン国際映画祭(フォーラム部門)、ハバナ映画祭をはじめとする世界の主要映画祭で絶賛されたうえ、Time Out誌によって「映画史上もっとも偉大なドキュメンタリーの一つ」と称され、政治ドキュメンタリーの金字塔として語り継がれている。

亡命・密輸——

映画史を揺るがした、伝説のドキュメンタリーが蘇る

『チリの闘い』は、クーデター当日まで撮影を続けた命がけの記録である。1973年9月11日、サルバドル・アジェンデ政権を武力で崩壊させた軍部は、グスマンを国立競技場に拘束。銃口の下、15日間にわたり収容されたのちに釈放され、彼は国外亡命を決意する。素材は撮影メンバーにより密かに国外へ持ち出され、亡命先であるキューバ・ハバナの国立映画芸術産業庁ICAICの協力のもと編集が行われた。このたび完成した2Kレストア版は、そのオリジナル素材から5年の歳月をかけて修復されたもの。1973年のチリを揺るがした真実が、鮮やかな映像と音声と共に蘇る。



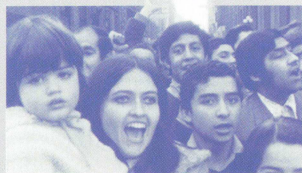
第1部：ブルジョワジーの叛乱 (101分)

左派の選挙勝利に対し、右派はストライキや妨害工作で政権転覆を図る。混乱が広がる社会の実態を捉える。



第2部：クーデター (92分)

軍のクーデター未遂が予行演習となり、緊張が高まる。そして9月11日、政権崩壊の瞬間を迎える。



第3部：民衆の力 (83分)

ストライキに対抗し、自主管理を始める民衆。草の根の運動は、体制変革を求める力へと発展していく。

11.21(金) ROADSHOW

吉祥寺PARCO地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422-66-5042 joji.uplink.co.jp

新風館地下1階

UPLINK 京都

075-600-7890